

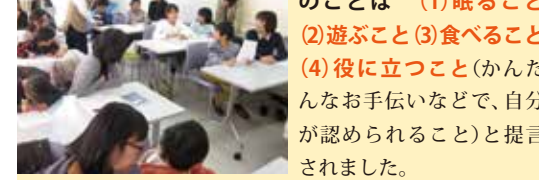
アウトメディア推進事業 / メディアに頼らない子育て
やっぱり、遊びがいちばん!

12月2日(土)、大殿地域交流センターで開かれた親子講座には15組の親子が参加。さっそく講師のNPO法人子どもメディア認定市民インストラクターの山本千恵子先生から質問を受けます。

テレビある? ご飯の時ついてる? ゲーム機持ってる? やりすぎて叱られたことある? スマホ使ったことある? ユーチューブ見たことある?

子どもたちは自分の生活をふりかえりながらそれぞれ無邪気に答えてくれます。デジタルネイティブ世代と呼ばれる子どもたちですが、今回参加したのは小学低学年が中心だったのでまだまだ電子メディアに取り込まれるようなところまでは行っていません。“ゲームをやりすぎたら目が悪くなる” “頭がよくなる” “体が悪くなる” など、子どもたちから声が上がったりして、うすうすわかってはいるようですが、それでもスマホなどのメディアに対する興味は津々!

時代が変わりメディアの普及などで子どもが育つ環境は変わってきましたが、成長のプロセスは変わっていません。



成長にとって大事な4つのことは (1) 眠ること (2) 遊ぶこと (3) 食べること (4) 役に立つこと (かんたんなお手伝いなどで、自分が認められること) と提言されました。

当日は、ことば遊びや絵本の読み聞かせなどを織り交ぜてアナログな時間の楽しさを伝えられました。一方、スマホはネットに簡単につながる危険があるため、**子どもたちに自由に使わせないで。ゲームの時間などもぜひ家庭でルールを作って欲しい、**と結ばれました。(ウスイ)

1月末、福岡市で行われた「子どもとメディア全国フォーラム」のテーマは「スマホ社会と子どもの育ち」。小児科医、眼科医、脳科学者など「子どもの心と体」についての専門家7人がスマホ社会における子どもの育ちの歪みや遅れの実相をそれぞれの立場から発言。あふれんばかりの情報でしたが、子どもの健全な成長・発達を促すものとして、なくてはならないと示された結論は全員例外なく**“外遊び!”**でした。

集まるとたのしいね...
会員さんのいるグループに
おじゃましてーす
ピンポン! **オリコーダー**



「リコーダー、やりたい!」と、思いついてしまったリーダーが、手当たり次第に声をかけたのがきっかけで結成。「選ばれし、いや、なんとなく残った4人が集まって、たま〜にピコピコふいている」という、リコーダーのグループです。気づけばメンバーみんな、大殿ブロックの会員でした。
「なかなか時間がとれず、きちんと教わったわけでもなく、あまり上達していませんが、ピタゴラスイッチは上手になりました」と自信満々の面々。
子どもたちは、リコーダーと一緒に演奏することもあるそうです。
おばあちゃんになっても、ピコピコしていたいね、というのがひそかな目標だそうです。
応援してます!(カキタ)

子どものきもち

夕暮れの工事現場の重機をみてひとこと
「ガガー(ショベルカー)ねんね」
ゆづきくん(1才10ヶ月)

「ワンワン」

LINE UP 2018

| | |
|------|---|
| 4月 | 28日(土) 亀山公園 こどもまつり2018 |
| 5月 | 12日(土) 山口市民会館 小ホール 影絵音楽団くぶくぶ きんぎょがにげた 《想造舎》 24日(木) 山口県教育会館ホール 人形劇 アラビアンナイト ～魔法のランプと明日のヒカリ～ 《人形劇団むすび座》 |
| 6月 | 16日(土) (特別公演) 松元ヒロ・ソロライブ2018 |
| 7月 | 5日(木)～8日(日) 各地域交流センター他 あっちこちdeアート2018 ■マイ・クロ・シアター ■そうぞうりよくのたね《OHオフィス》 |
| 8月 | 3日(金)～5日(日) こどもキャンプ 8日(水)9日(木) 山口情報芸術センター 不思議の国のアリス |
| 10月 | 14日(日) 山口市民会館 小ホール 人形劇 ともだちげきじょう 《人形劇団ののはな》 26日(金) 山口県教育会館ホール スゲテツ音楽会 きがるにブラボー! 《プラスギス》 |
| 12月 | 15日(土) 山口県教育会館ホール YEN TOWN FOOLS ーピクチャーブックー 《蒼い企画》 |
| 2月 | 16日(土) カリエンテ山口 キッドナップ・ツアー 《劇団うりんこ》 |
| 3月 | 16日(土) でべそ版ずっけ狂言 でんでんむしむし48 《民族芸能アンサンブル若駒》 |
| 3月予定 | こどもステージ る・リ・フリー-2019 |

赤れんがだより
クリエイティブ・スペース赤れんがはこどもステーション山口が指定管理者となっています。
8/22(水)～9/2(日) **公文知洋子展**
2019/3/2(土) **チェンパロコンサート**

あそぶ・かんじる・そだつ



vol. 102

舞台を観るのって、どんな気持ち? 1-2p

コンサートが始まるまえに 2p

子どもたちの体験と活躍がすてき! る・リ・フリー 3p

アウトメディア推進事業 やっぱり!遊びがいちばん! 4p

ぐるーぶさーん ピンポン! オリコーダー 4p

舞台劇「ともだち」劇団うりんこの舞台に見入る。「オオカミさん! あっちあっち!」客席の子どもたちからかけ声まで飛び出した。

舞台を観るのって、どんな気持ち?

市内各地から子どもたちが集まってくる、舞台公演の日。始まる前から、友だちと顔をあわせて、ワイワイ。腹ごしらえにロビーでおにぎりを食べたり、早めに席をとって友だちとじゃれ合ったり。今日はどんなことがはじまるのか。少しずつ期待感が高まります。



こどもステーション山口とは
子どもたちが文化芸術に親しんで、心ゆたかな子ども時代が過ごせるように活動しています。プロの舞台芸術に出会う鑑賞例会のほかに、キャンプやこどもまつりなど、たくさん仲間といっしょに活動できる場をサポート。大人にも、「子どもと共に育ちあう」学習の機会を提供しています。また各地区ブロックでは、会員が地域のつながりを大切にしながら独自の楽しい活動を行っています。

《こどもステーション山口の3月の会員》
正会員160人 準会員63人 子ども登録数341人 計564人

こどもステーション山口 WEBサイト
http://blog.canpan.info/kodomo_s_y/
こどもステーション山口の様々な活動を紹介しています。
事務局日記 <https://blogs.yahoo.co.jp/co26station>
日々の色々をつづっています。

Facebookもチェック!
f

入会お待ちしております...鑑賞例会の入場料が無料です!
正会員 月会費2,500円(子どもの登録OK)
子どもの登録料(一人400円/年)
準会員 月会費1,300円(大人だけの参加)
賛助会員 個人会費:一口5,000円/年
団体会費:一口10,000円/年
※寄付も随時、募っています。
※年間3,000円以上ご寄付いただいた方は確定申告により、税額控除が受けられます。
○2017年度にご支援いただいた方
《団体賛助会員》4団体 (敬称略・順不同)
■ビジネスホテル富士の家 ■塗装 秋貞
■おおどの診療所 ■永田こどもクリニック
《個人賛助会員》39名
大東静枝 杉山昭郎 松崎ウメコ 山本由代 内田奈保子
木村純子 嶋田日出夫 末長正美 宮田佳子 内田菜摘
石津久美子 奥島一洋 末長桂子 柴崎泰子 日野 操
金重節子 山岸秀雄 保手津孝 中林和子 伊藤昭子
林 佳子 津波容子 藤原美智子 長谷川真成 松原一博
勇木礼子 松富昭子 片倉潤子 菊本達子 二宮真弓
矢野 節 兼森禎子 山崎睦子 加藤美知代 鈴木香織
中島匡博 寺田洋子 大山朝子 佐藤キヌコ
《「支え人。」としてのご支援をいただいている企業》
■(株)メルシー ■リンドヴルム
《ご寄付いただいた方》35名11団体

編集後記 ■る・リ・フリー当日、「一人一人が主人公」の子どもたちに、舞台外でもカメラを向けました。子どもたちは、歩いていても、立っているだけでも、いつでもどこでも、何か楽しそうに遊んでいるようでした。(M.K)

YA!

【こどもステーション山口 広報紙】
2018年4月1日 発行
発行:認定NPO法人こどもステーション山口
事務局 OPEN 月～金10:00～17:00
ご意見・ご感想お待ちしております。
〒753-0047 山口市道場門前2-4-20国近ビル2F
TEL・FAX 083-925-1486
☒ co26station@yahoo.co.jp

なにがはじまるかわくわくする。(小2)



楽しいし、みんなにもみてほしいと思う。(小学生)

新たな発見を楽しみにわくわくしています。(30代女性)

もう舞台公演は、特別な時間と空間をつくりだしています。舞台の上の世界は、身のまわりの現実とはちょっと違う世界。でも、私たちの生きている世界にもきっとあること、と想像させてくれます。子どもも大人も舞台と現実の世界を行き来しながら、考えたり、気づかされたりしています。(2ページへ)

子どもの発想や疑問に、驚かされたり、気づかされたりすることがあります。
経験や知識を重ねることで、子どもの時のように、想像や夢の世界をひろげることがむずかしくなったように思いませんか。子どもは、柔らかな頭で大きな想像の世界を広げます。そうした中で、素直に驚き、疑問や発見を繰り返して心も成長しています。大人も子どもたちのように、想像の世界を楽しみたいものです。

楽しむなら、本やテレビでも同じでは？と思うかもしれませんが、舞台には舞台でしか味わえない良さがあります。演者さんのお話では「地方によっても様子が違います。大阪では、子どもたちからどんどんツッコミが入る。東北だと静かに観ているから面白くないのかなと思ったら、後で『おもしろかったー！』と言われる」のだそう。観ている子どもの反応、お客さんの人数などによっても、舞台の雰囲気も変わってくるそうです。演じる者と観る者がそろって、初めて完成する生の舞台の面白さです。「テレビやネットでは得られない感動があります」「演じる人の力強さを生で感じることができる」などの感想にもあるように、『同じ空間を共有している』『目の前で、人が演じている、演奏している』というのは、テレビなどのメディアとは異なる、インパクトや力を感じます。

舞台を観るのって、どんな気持ちでいいの？
想像力を育てよう

一体感があって、
気持ちがよい。(60代女性)

その日その時間しか
味わえない空気感が好き。(女性)

非日常、夢の世界へ
連れていってくれる!! (無記名)

舞台劇「ともだちや-あいつもともだち-」の舞台

また、舞台はテレビや映画と違って、セットや登場人物を切り取って自由に編集することはできません。舞台全体がみえているので、観るもの一人一人にとらえかたを委ねられています。だから、終わった後話をすると、思いもしない感想がでてきたりします。子どもが、何日も経ってから思い出したように、公演で聴いた曲を歌ったりするのも、子どもの頭や体のなかで、舞台を観て想像したことなどが時間をかけて思い巡っているからでしょう。親子で、感じたことを話してみるときっと楽しいですね。

親は、子どもが喜ぶからとか、子どものためにとか、考えます。「好きなキャラクターが出てくる舞台だから、知っている人気のある曲が演奏されるから、子どもが喜ぶだろう」。でも、それが、子どもの心を動かす、心に残るとは限りません。また、「舞台から知識とか教養とか道徳を学ぶだろう」と望むかもしれません。でも、舞台とはそういうものでもないように思うのです。子どもたちが、舞台から受けとっているものは、他にももっと広くたくさんあるように思います。舞台鑑賞は、未知の世界に触れて、五感で感じとって、心の世界をひろげる、そんな場所なのだと思うのです。

コンサートがはじまるまえに

握りしめてきたチケットを入り口で渡して、さあ、はじまり。いつもとはちょっと違う、特別な世界へ足をふみいれます。今日はマリンバのコンサート。このために、お母さんたち、考えました。会場ロビーに、マリンバが作れたら楽しいね。竹を使ったらいいんじゃない？って。みんなでなんとか集まって、ああでもない、こうでもない、子どもたちも一緒にね。竹をならべて、音階にして、竹マリンバも作ってみました。ガンガンならしたり、小さく叩いてみたり。コンサートがはじまるまでの少しの時間、手作りならではの音の世界、楽しんでもらえたかな。



はねるマレット うたうマリンバ
マリンバ・カンパニー 12月16日(土) 山口県教育会館ホール
マリンバと打楽器のひびき。音にききほれ、動きに目を奪われました。

- 一つの楽器でいろんなことができるんだなあと思いました (女性・10代)
- すごくきれいな音で、すごくよかった (男子・8歳)
- 「やっぱり音楽ってすごいな」とあらためて感じました (女子・12歳)
- 美しい音色とドラムの迫力とユーモアと人生における教訓と、いやしとやる気をいただきました (女性・50代)

0才からの音楽会
マリンバ・カンパニー 12月17日(日) C・S赤れんが
3歳までの赤ちゃんと小さな子どもたちと、おとなたちのための、特別なステージ。特別な時間。

- いろんな音が混ざってかっこよかった (男子・3歳)
- いつもゴソゴソの子どもが、集中してすごせました (女性・40代)
- ぜいたくな時間をすごすことができました (女性・40代)



—何が(どういう舞台が)いいの、断言することは難しく、これを与えれば大丈夫というような定式はありません。だからこそ、いろいろな出会いがあったほうがいいのです。「子ども舞台芸術ガイド 芸団協 芸術文化情報センター/芸団協出版部」より

色々な舞台に出会い、体験を重ねることが、豊かな想像力を培います。目に見える成果としてすぐに現れるわけではないけれど、想像力は、視野をひろげ、人との関係も豊かにします。そんな“生きる力”を舞台が育ててくれるというのは、すばらしいと思いませんか。(クラタ)

子どもたちの**体験と活躍**がすてき!

一人一人が主人公! 子どもたちによる創作舞台!

る・リ・フリー 2018

3月11日(日) 山口県立図書館レクチャールーム



さまざまな舞台に出会ってきた子どもたちが、今度は“作・演出・美術・キャスト”になり、子どもならではの発想や表現をつぎつぎに繰り出す玉手箱のようなステージを、準備の様子から振り返ってみました。

る・リ・フリーが近づくと、ほとんどのブロックが毎週のように集まります。みんなとワイワイ遊んでいるうちに、一人のひらめきが次のひらめきを呼び、どんどん作品の世界がふくらんで、楽しい場面ができていきます。衣装やセット作りも然り。子どもから衣装についていろいろ注文が出たり、背景にいつの間にか物語と関係ない雷やサンタが描かれていたり...と、子どもの遊び心と想像力はどこまでも自由。自分の考えたことが形になるってワクワクしますよね。そんな子どもたちの表情はイキイキしています。



そして、本番のステージでは、一方的な発表だけでなく、観客に直接語りかけるセリフや、観客のリアクションを要求するような場面もありました。これらの豊かな発想は、さまざまな舞台鑑賞や日常で体験した、たくさんの素直な“感動”や“驚き”の記憶から出てくるのかなと感じます。

また、発表後の子どもたちは、観客の反応や、自分自身が舞台上で感じたことなど、小さな体験を積み重ねて成長しています。舞台と会場が一つになって生まれる雰囲気を感じて、観るだけでなく表現する楽しさもしっかり味わっているようです。この体験は別の場所でもきつと彼らの自信につながります。



こんな舞台をみてきたよ

こどもステーション山口の鑑賞例会(定期的に行っている舞台鑑賞会)には、人形劇や舞台劇などいろんなジャンルがあります。

2017 10月
2018 3月

~かかしになるために~
KOYOマイムライブ2!

パントマイムユニット TORIO
10月29日(日)
ニューメディアプラザ山口

パントマイムの奥深さ。大笑いしながら、ほろりとさせられ。これ、ちびっこにはわからないだろうなあ。

- なみだが出るほど、笑いました (女性・60代)
- 体一つでいろんな表現をする事の大変さがすごかったわってきました (女性・30代)

ともだちや -あいつもともだち-

劇団うりんこ 1月14日(日) 山口市民会館小ホール
個性的なキャラクターたちにきぎづけ! みんなが楽しくなって、ちょっぴり、ともだちのこと、考えました。

- 子どもたちのこと、子ども時代のことを考えたり、思い出したりしました (女性・40代)
- またみたいです (女子・8歳)
- 「ともだちごっこともだちって違うんだ」印象に残った言葉になりました (女性)



今年は、8グループが発表し、どれも見ごたえのある作品でした。何より子どもたち自身が楽しそうに演じていました。少人数や低年齢のみで構成するブロックでは、人形を使うなど、表現の工夫も光っていました。(ワジメ)

※ブロックとは、およそ小学校区ごとの会員が集まって活動しているグループです。



公演にあわせて、エビカニミトンをみんなで作りました。自分で縫ったオリジナルミトンをはめて踊る、エビカニミトンのダンスワークショップも開催。コンサートが、待ち遠しくてしかたない毎日でした。

ケロポンズ わくわくコンサート

カエルちゃんオフィス
3月3日(土) 山口市民会館大ホール
エビカニミトンが人気。たくさんの人と一緒に、息つくひまなく楽しみました!

- 歯が抜けそうなくらいおもしろかった(子ども)
- 久しぶりに幼稚園の頃のおちゃめ心をうごかしたので、たのしかった♡(女子・11歳)
- 2人のパワーに自分も頑張ろうと思いました (女性・40代)

